



東日本大震災報告

東日本大震災被災地での歯科活動 (被災歯科医師への支援)

8期 大石善也

私は、(社)全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会 <http://e-shika.org/>という組織を立ち上げ全国の有志(大学・病院・開業歯科)と口腔ケア・嚥下の研修をしております。

今回、現地継続支援システム作製のため4月6日～4月10日に岩手県釜石近隣に介入しました。あえて被災者と同じ環境で情報収集するために廃業民家に滞在しましたが、震災後の強い余震にて、宿泊所の壁が落ち水道管も破裂して屋外避難後、現地サイレンにより高台に避難ライフライン×を経験しヒヤリとしました。

釜石市には26件の歯科がありました。震災で残ったのは9件で、12軒の家と診療所を失った歯科医師が往診しています。今一番放置されている問題は、「在宅被災者への往診システム」の欠如です。この在宅に診療所と家がなくなった歯科医師が往診していますが車が不足しており連絡会で寄付を集め新車を購入し、さらに3台の中古車(個人譲渡・私が所属する歯科医師会)など計4台を岩手県被災歯科医師に譲渡しました。

色々な問題がありますが、これからの長い支援が必要です。

